

## 論文審査の要旨(甲)

申請者領域・分野 氏名	病態制御科学領域 消化器内科学教育研究分野 中川 悟
指導教授氏名	若林 孝一
論文審査担当者	主 査 大門 眞 副 査 萱場 広之、 田坂 定智
(論文題目) <i>Helicobacter pylori</i> 感染の除菌が BMI、脂質摂取量、血清脂質濃度へ及ぼす影響についての検討	
<p>(論文審査の要旨)</p> <p><i>H. pylori</i> 感染者では胃酸分泌が低下しているが、除菌が成功した場合には酸分泌能が改善する。この消化管内の酸環境の変化は、栄養素の摂取・消化吸収に影響する可能性がある。と申請者は考え、健常成人を対象に <i>H. pylori</i> 感染の除菌が血清脂質濃度に及ぼす影響について 1 日当たりの脂質摂取量の変化も併せて検討した。</p> <p>対象者は、青森県弘前市岩木地区の 2012 年度の岩木健康増進プロジェクト健診で <i>H. pylori</i> 感染者と診断された者のうち、2014 年度にも同じ住民健診を受診した 177 名(除菌成功者 33 名、感染持続者 144 名)で、感染診断は、血清抗体法と便中抗原法を用いて行った。2012 年の健診受診後に除菌治療を受けて、2014 年に感染なしとされた者を除菌成功者とし、2012 年と 2014 年の 1 日当たりの脂質摂取量、BMI および血清脂質濃度を、感染持続者と除菌成功者でそれぞれ男女別に比較し、以下の結果をえた。1. 1 日当たりの脂質およびコレステロール摂取量は、いずれにおいても変化はなかった。2. BMI は除菌に成功した女性で、<math>22.1 \pm 3.3 \text{ kg/m}^2</math> から <math>22.4 \pm 3.3 \text{ kg/m}^2</math> へ有意に増加した (<math>p=0.022</math>) が、感染持続者では変化はなかった。3. 除菌成功者では HDL、LDL 濃度が、有意に低下した (<math>p&lt;0.001</math>、<math>p=0.021</math>) が、感染持続者では観察されなかった。</p> <p>本研究では、<i>H. pylori</i> 感染の除菌に成功した場合には、1 日当たりの脂質摂取量に変化がないにも関わらず、BMI は増加し、血清 LDL 濃度は低下する事が示された。この結果は、<i>H. pylori</i> 除菌後の変化として一定の結果が得られていない我が国の報告に一石を投げかけるものと思われる有用な知見であり、学位授与に値する。</p>	
公表雑誌等名	消化と吸収, 2017; 39(2): 印刷中